

(2) 口座振替を利用していない理由

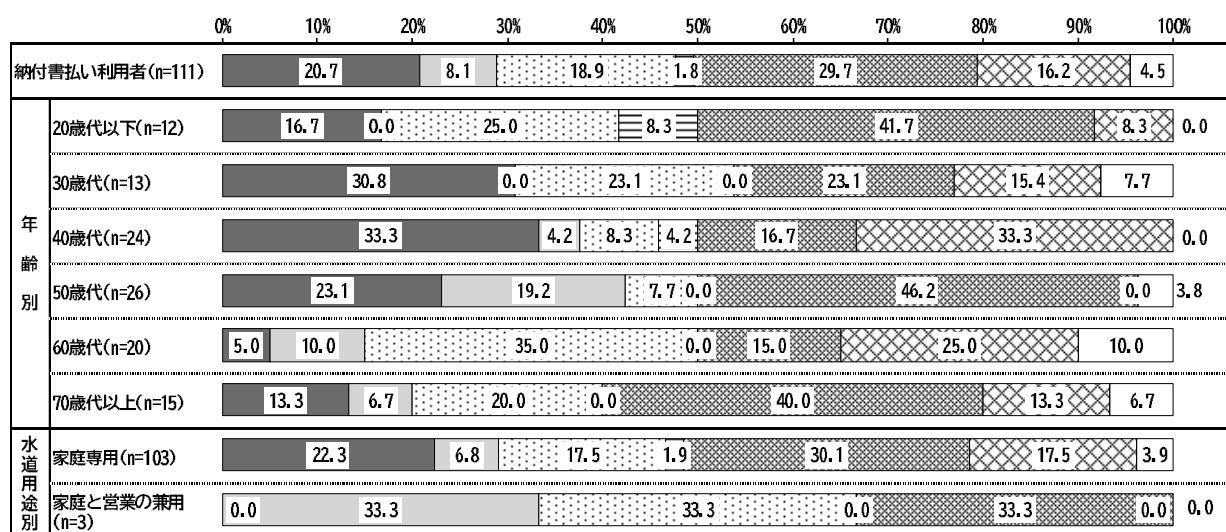
問19. (問18で「1. 口座振替」以外を回答した方へ)

口座振替を利用されていない主な理由は何ですか。(○印は1つだけ)

納付書払いの理由としては、「特に理由はない」が29.7%と最も多くなっている。次いで、「申込みの手続きが面倒である」が20.7%、「振替日が自分の生計スタイルと合わない（他の振替日と重なる又は給料日の前など）」が18.9%、「日頃から口座を利用していない」が8.1%となっている。

年齢別にみると、サンプル数が少ないため、参考値として下表に示す。

図表6-1-3 口座振替を利用していない理由



- 申込みの手続きが面倒である
- 日頃から口座を利用していない
- ▨ 振替日が自分の生計スタイルと合わない（他の振替日と重なる又は給料日の前など）
- ▤ 主として利用している口座（金融機関）では、取り扱いがない
- ▧ 特に理由はない
- ▩ その他
- 無回答

(3) 水道料金のその他の支払い方法

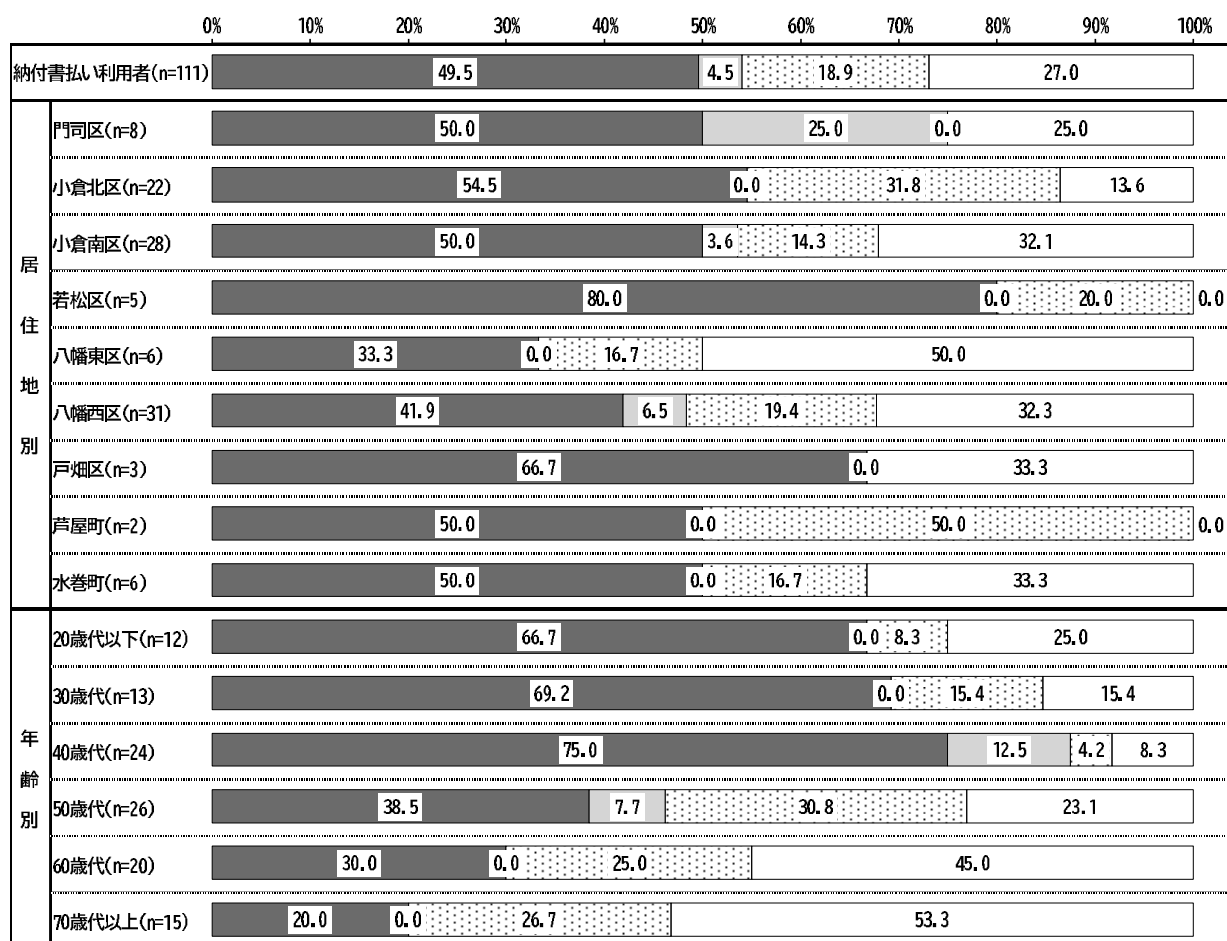
問20. あなたは、「口座振替」、「銀行（納付書払い）」、「コンビニ（納付書払い）」、「スマホ決済（納付書払い）」以外にどのような支払い方法を希望されますか。（○印は1つだけ）

「口座振替」、「銀行（納付書払い）」、「コンビニ（納付書払い）」、「スマホ決済（納付書払い）」以外に希望する支払い方法としては、「クレジットカード決済」が49.5%と最も多く、次いで「その他のキャッシュレス決済を希望する」が18.9%、「インターネット銀行での支払い」が4.5%となっている。

属性別にみると、サンプル数が少ないため、参考値として下図に示す。

ただ、参考値ではあるが、年齢別にみると、50歳代以上に比べて、40歳代以下では「クレジットカード決済」が多くなっている。

図表6-1-4 水道料金のその他の支払い方法



■ クレジットカード決済 □ インターネット銀行での支払い □ その他のキャッシュレス決済を希望する □ 無回答

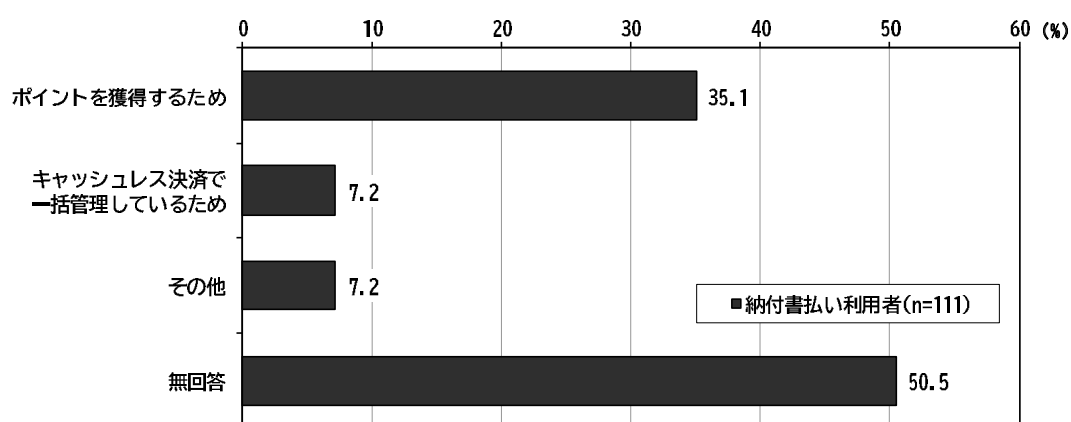
(4) その他の支払い方法の理由

問21. 問20のように回答された理由は何ですか。(複数回答可)

希望する支払い方法にする理由としては、「ポイントを獲得するため」が35.1%、「キャッシュレス決済で一括管理しているため」が7.2%となっている。

希望支払い方法別にみると、クレジットカード決済では「ポイントを獲得するため」が58.2%、インターネット銀行での支払いでは「キャッシュレス決済で一括管理しているため」が40.0%（参考値）と多くなっている。

図表6-1-5 その他の支払い方法の理由



		(%)			
	サンプル数 (件)	ポイントを獲得するため	キャッシュレス決済で 一括管理しているため	その他	無回答
納付書払い利用者	111	35.1	7.2	7.2	50.5
希望 方法 別 支 払 い					
クレジットカード決済	55	58.2	5.5	-	36.4
インターネット銀行での支払い	5	-	40.0	-	60.0
その他のキャッシュレス決済を希望する	21	33.3	14.3	28.6	23.8

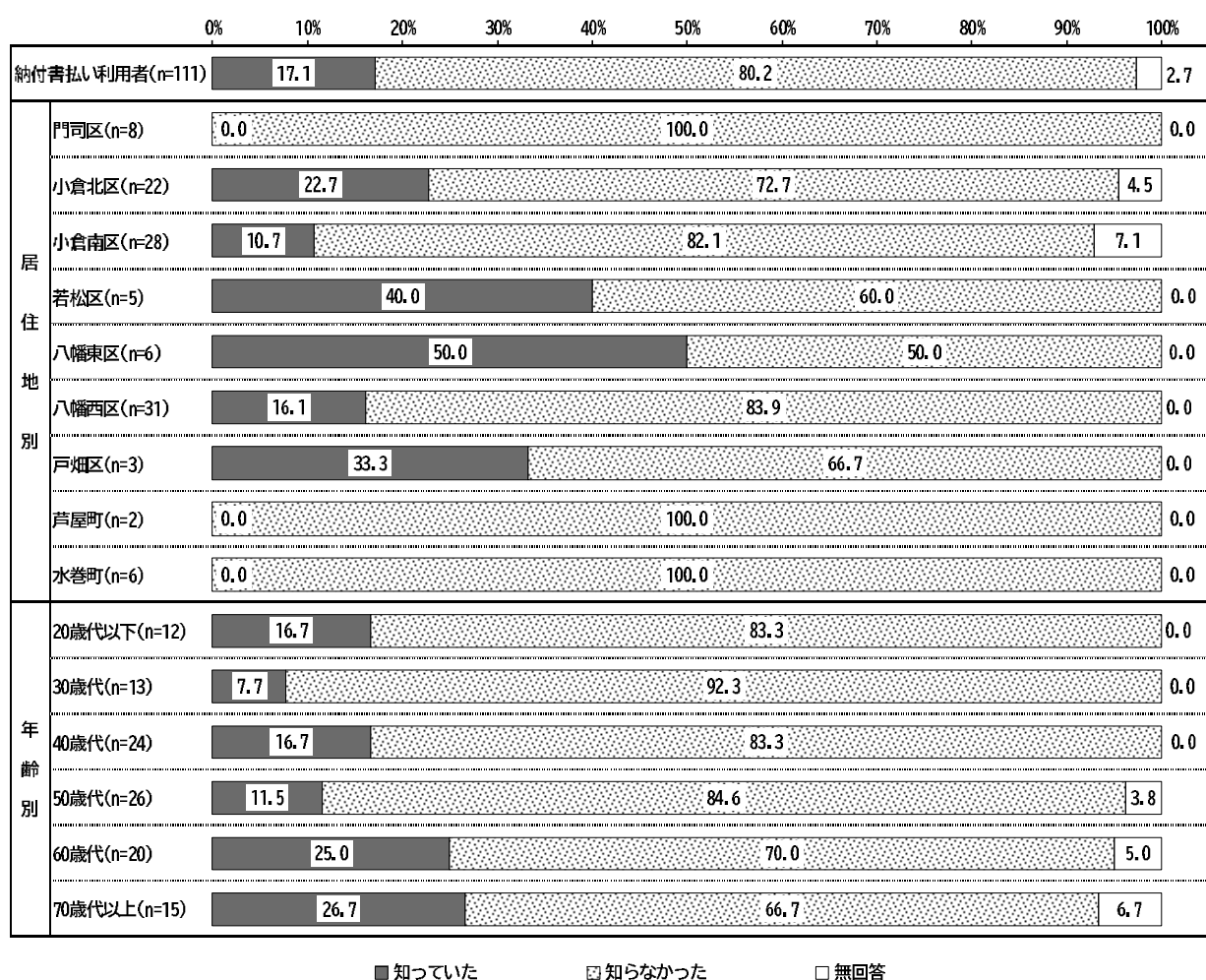
(5) インターネットを利用した口座振替サービスの認知度

問22. 2023年1月より、インターネット・パソコン・タブレット端末等でインターネットを利用して口座振替の受け付けをするサービスが開始されましたが、知っていますか。(○印は1つだけ)

インターネット・パソコン・タブレット端末等でインターネットを利用して口座振替の受け付けをするサービスの開始については、「知っていた」が17.1%、「知らなかった」が80.2%となっています。

属性別にみると、サンプル数が少ないため、参考値として下図に示す。

図表6-1-6 インターネットを利用した口座振替の受け付けをするサービスの認知度



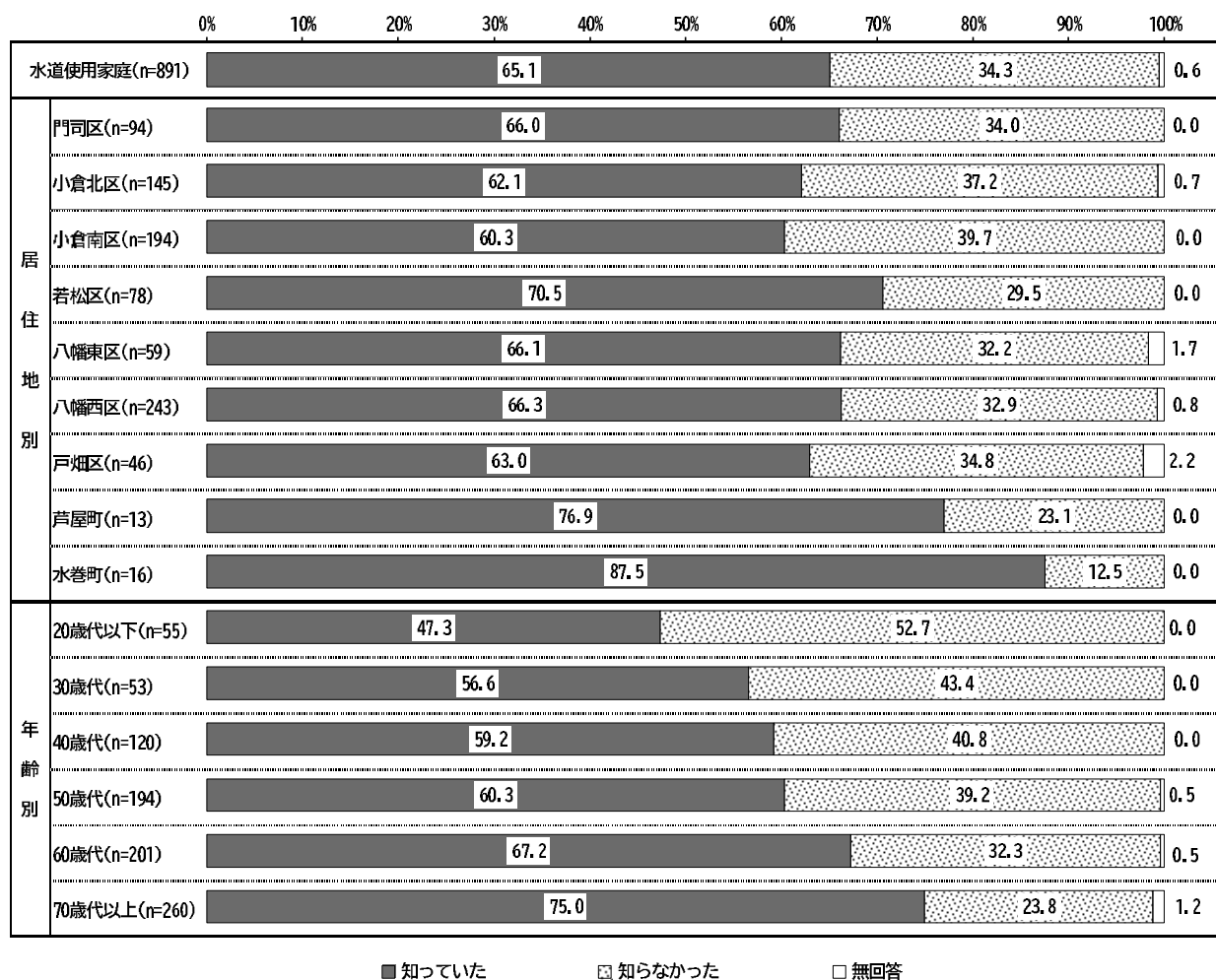
2 上下水道施設の維持・管理費用の財源

問23. 上下水道施設の維持・管理費用は、水道料金収入及び下水道使用料収入を財源としていることを知っていましたか。(〇印は1つだけ)

上下水道施設の維持・管理費用は、水道料金収入及び下水道使用料収入を財源としていることについては、「知っていた」が65.1%、「知らなかった」が34.3%となっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど、「知っていた」が多くなっている。

図表6-2 上下水道施設の維持・管理費用の財源

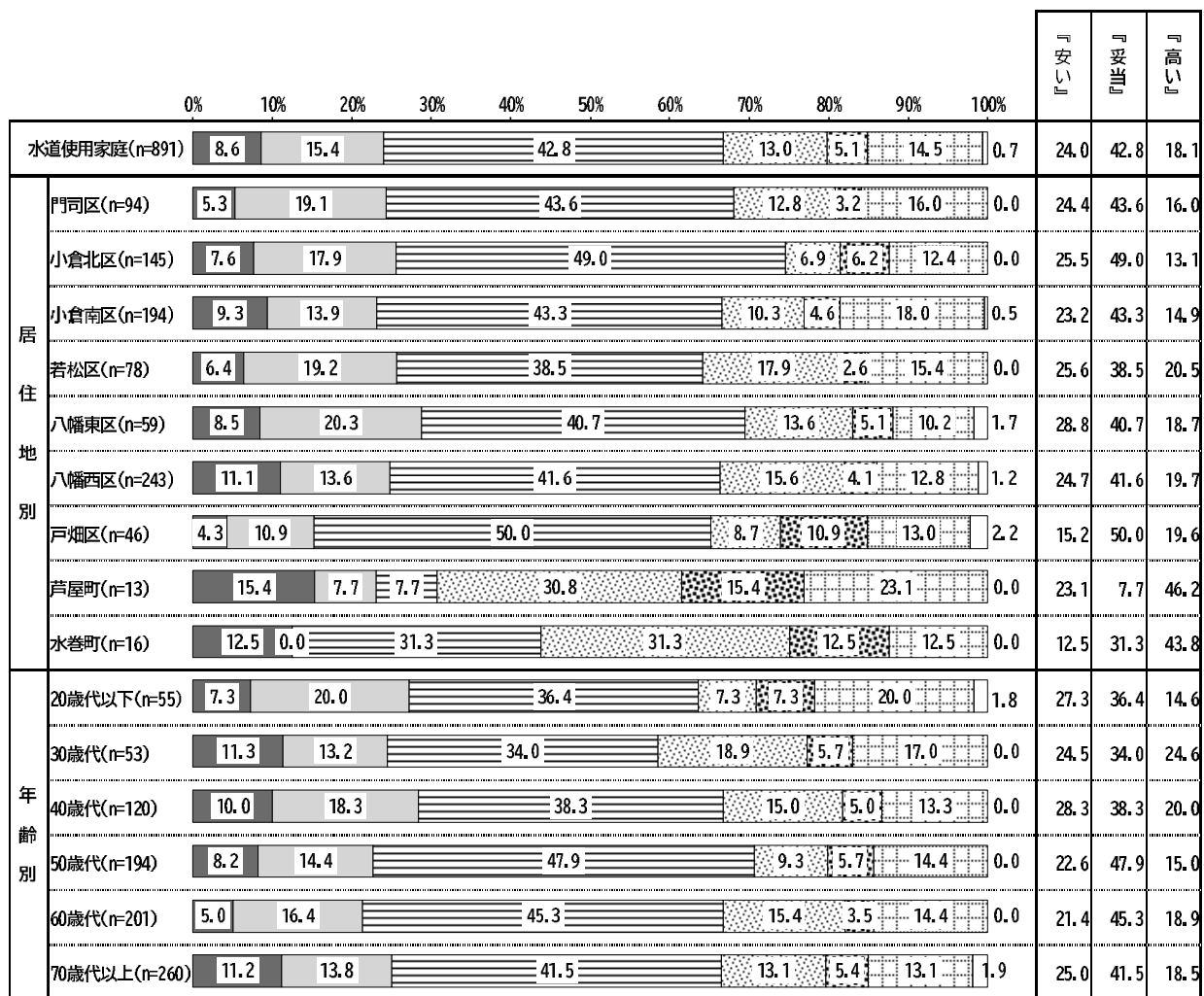


3 北九州市の水道料金

問24. 北九州市の水道料金について、どのように感じていますか。(○印は1つだけ)

北九州市の水道料金については、「妥当だと感じる」が42.8%と最も多くなっている。『安い』は24.0%（『安いと感じる』8.6%+『どちらかといえば安いと感じる』15.4%）、『高い』は18.1%（『どちらかといえば高いと感じる』13.0%+『高いと感じる』5.1%）となっている。

図表6-3 北九州市の水道料金



■ 安いと 感じる □ どちらかといえば 安いと感じる □ 妥当だと 感じる □ どちらかといえば 高いと感じる □ 高いと 感じる □ どちらとも いえない □ 無回答

(※)『安い』は「安いと感じる」と「どちらかといえば安いと感じる」の合計
『妥当』は「妥当だと感じる」
『高い』は「高いと感じる」と「どちらかといえば高いと感じる」の合計

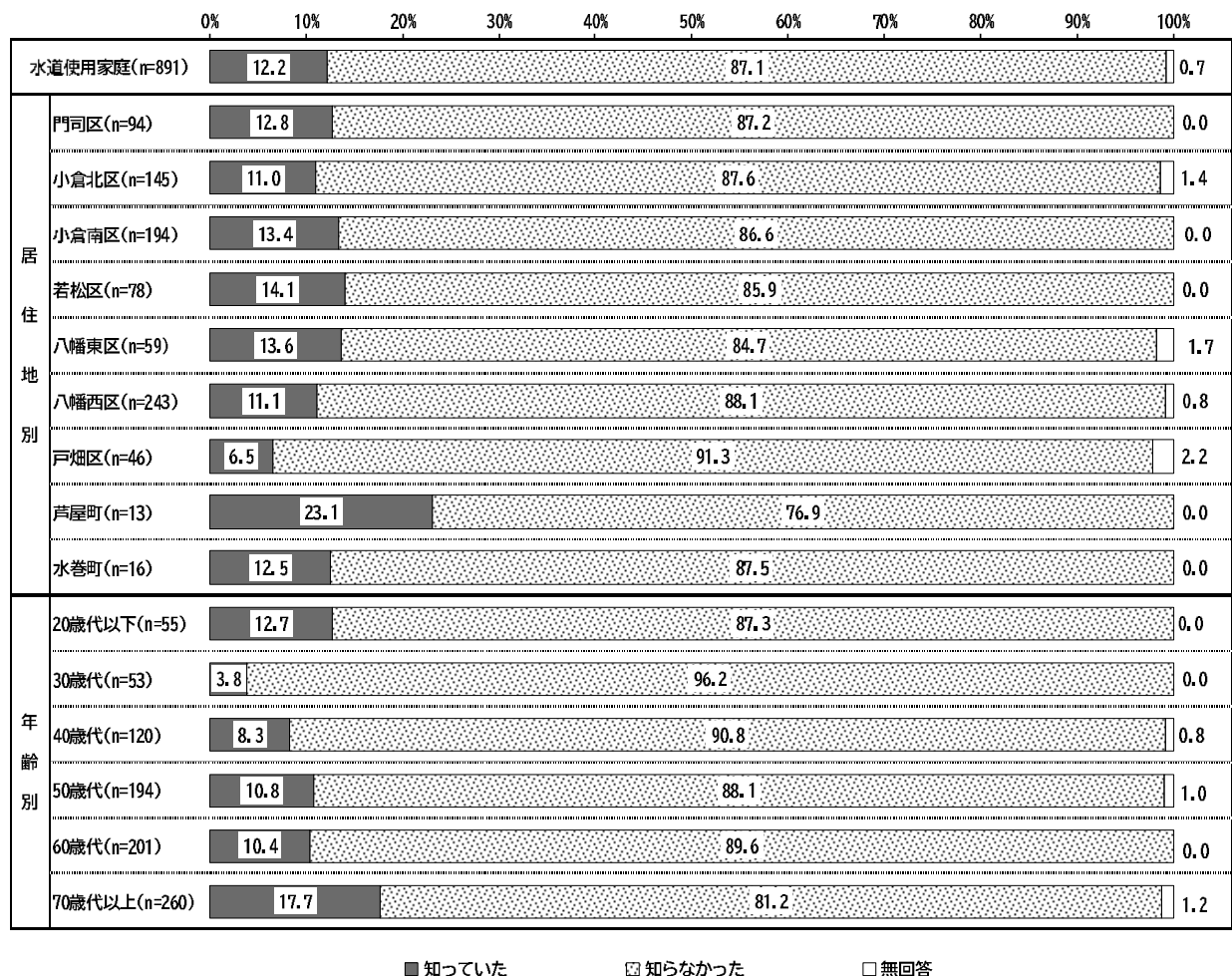
4 福岡県内60市町村で1番安い水道料金

問25. 北九州市の水道料金、下水道使用料は福岡県内60市町村で1番安いことを知っていましたか。(水道口径13mm 1箇月20㎡使用した場合)(○印は1つだけ)

北九州市の水道料金、下水道使用料は福岡県内60市町村で1番安いことについては、「知っていた」が12.2%、「知らなかった」が87.1%となっている。

年齢別にみると、30歳代以上では年齢が高くなるほど「知っていた」が多くなる傾向にある。

図表6-4 福岡県内60市町村で1番安い水道料金



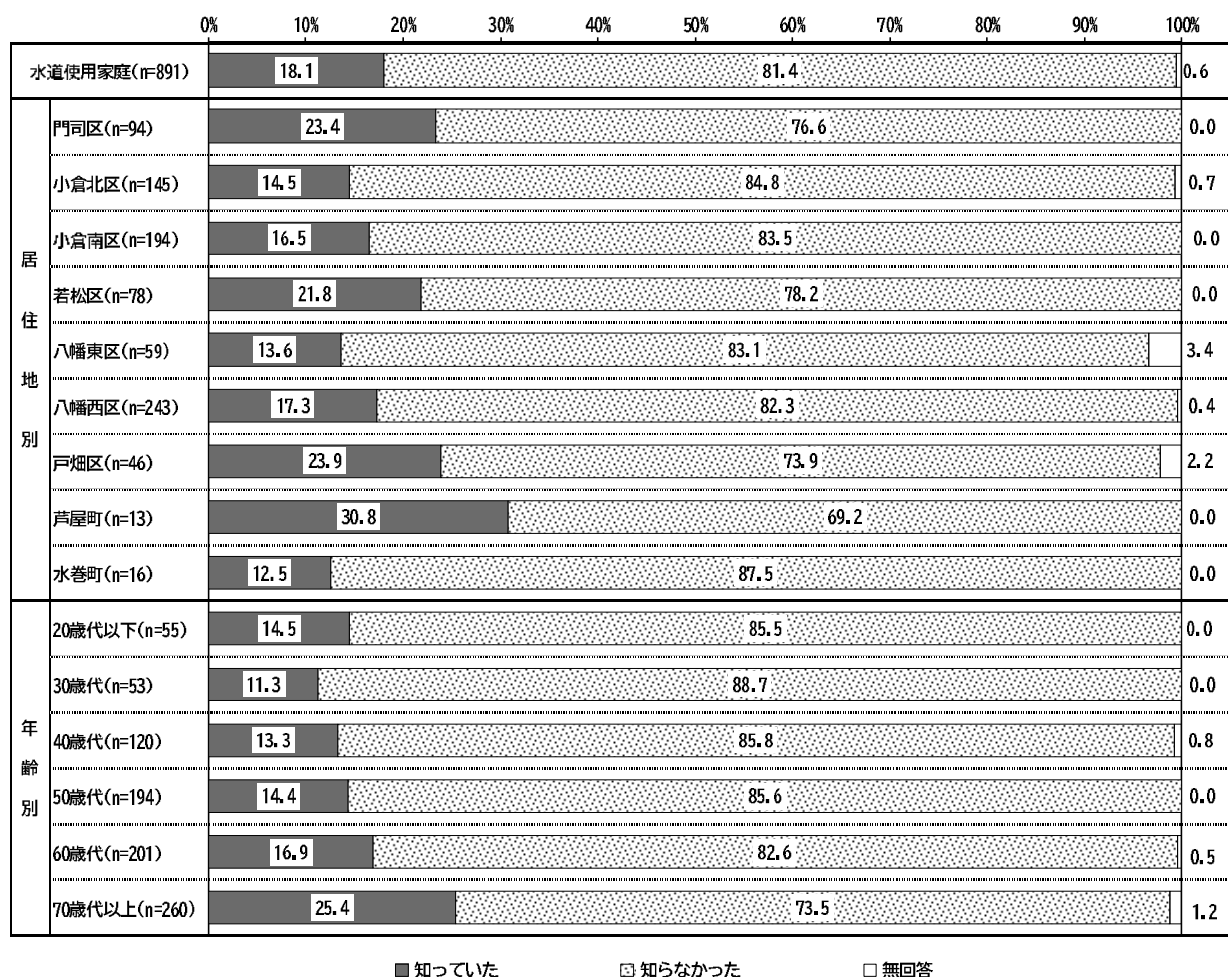
5 水道料金収入及び下水道使用料収入の減少

問26. 人口減少や節水機器の普及等による水需要の低下のため、水道料金収入及び下水道使用料収入は年々減少していることを知っていますか。(○印は1つだけ)

人口減少や節水機器の普及等による水需要の低下のため、水道料金収入及び下水道使用料収入は年々減少していることについては、「知っていた」が18.1%、「知らなかった」が81.4%となっている。

年齢別にみると、30歳代以上では年齢が高くなるほど「知っていた」が多くなる傾向にある。

図表6-5 水道料金収入及び下水道使用料収入の減少



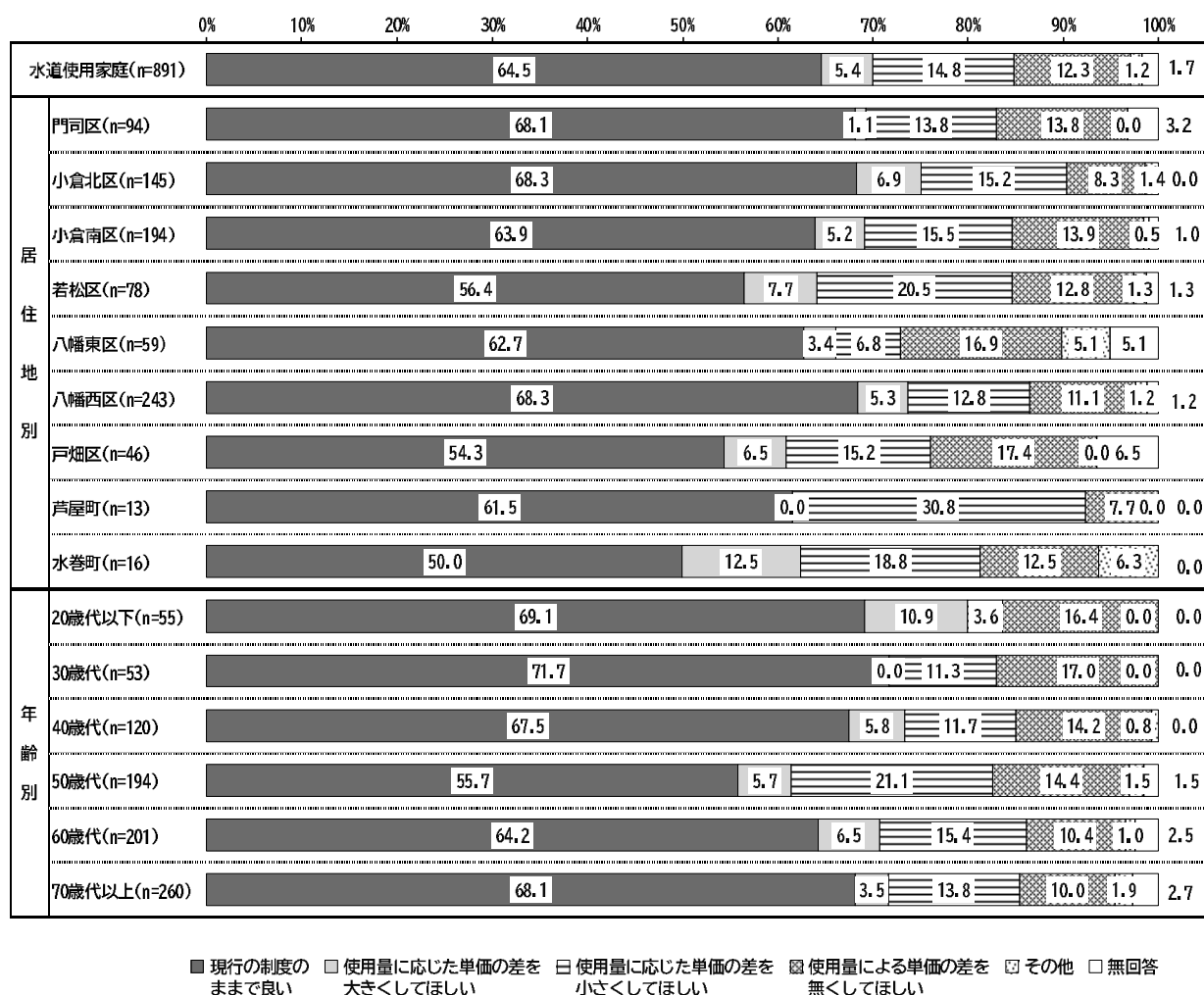
6 料金体系（逦増制）

問27. 北九州市では、使用量が多くなるにつれて、1 m³あたりの単価が段階的に高くなる料金体系（逦増制）になっています。このことについての考えを教えてください。（○印は1つだけ）

1 m³あたりの単価が段階的に高くなる料金体系（逦増制）については、「現行の制度のままで良い」が64.5%と最も多くなっている。次いで「使用量に応じた単価の差を小さくしてほしい」が14.8%、「使用量による単価の差を無くしてほしい」が12.3%、「使用量に応じた単価の差を大きくしてほしい」が5.4%となっている。

居住地区別、年齢別にみても、「現行の制度のままで良い」が最も多くなっている。

図表6-6 料金体系（逦増制）

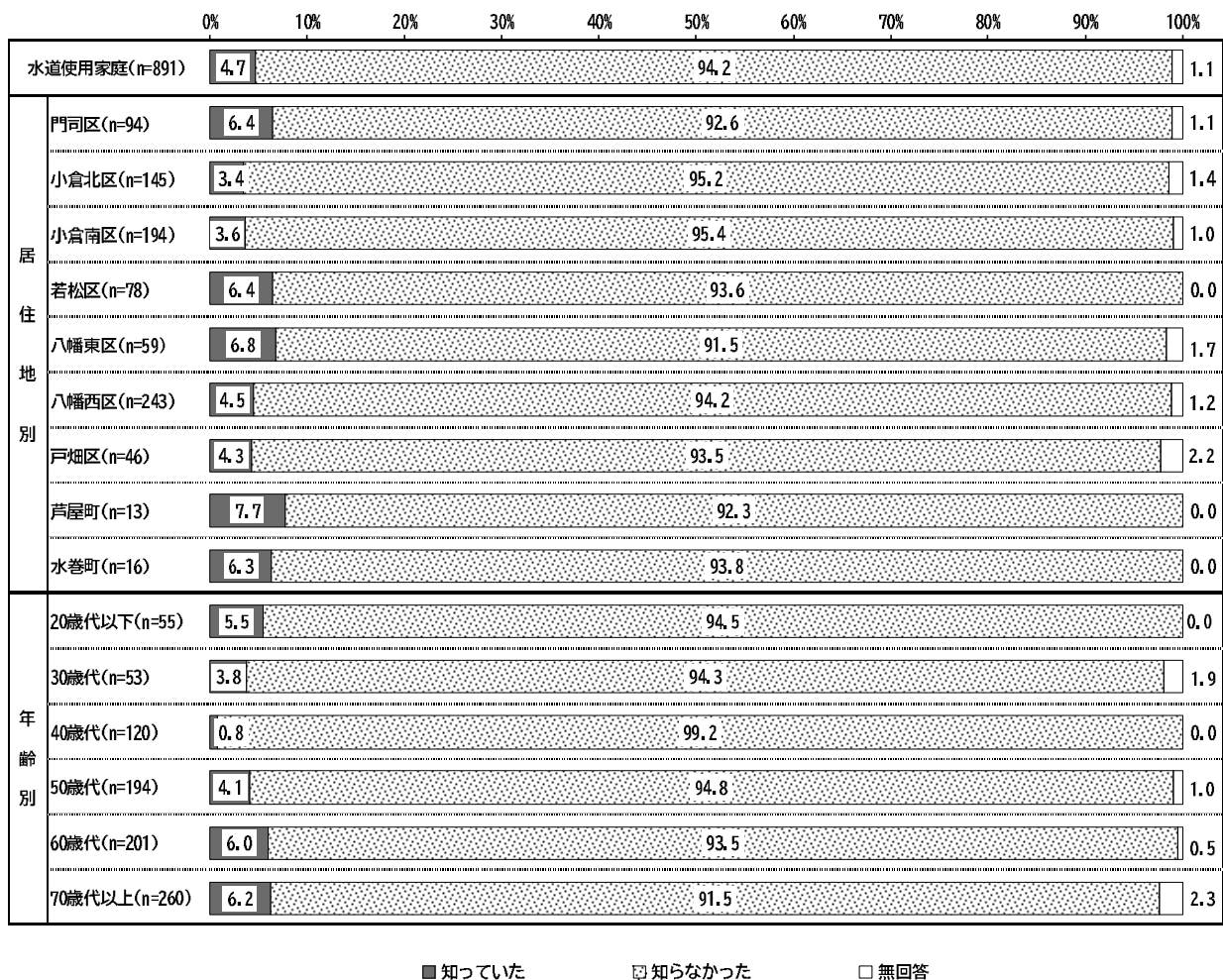


7 水道事業が令和9年度に資金不足となること

問28. 上下水道局ホームページで公開している基本計画では、水道事業、下水道事業等の収支見通しを示しており、水道事業は令和9年度に資金不足となることを公表しています。このことを知っていましたか。(令和9年度累積資金剰余：▲6億7100万円)

水道事業は令和9年度に資金不足となることについては、「知っていた」が4.7%、「知らなかった」が94.2%となっている。

図表6-7 水道事業が令和9年度に資金不足となること

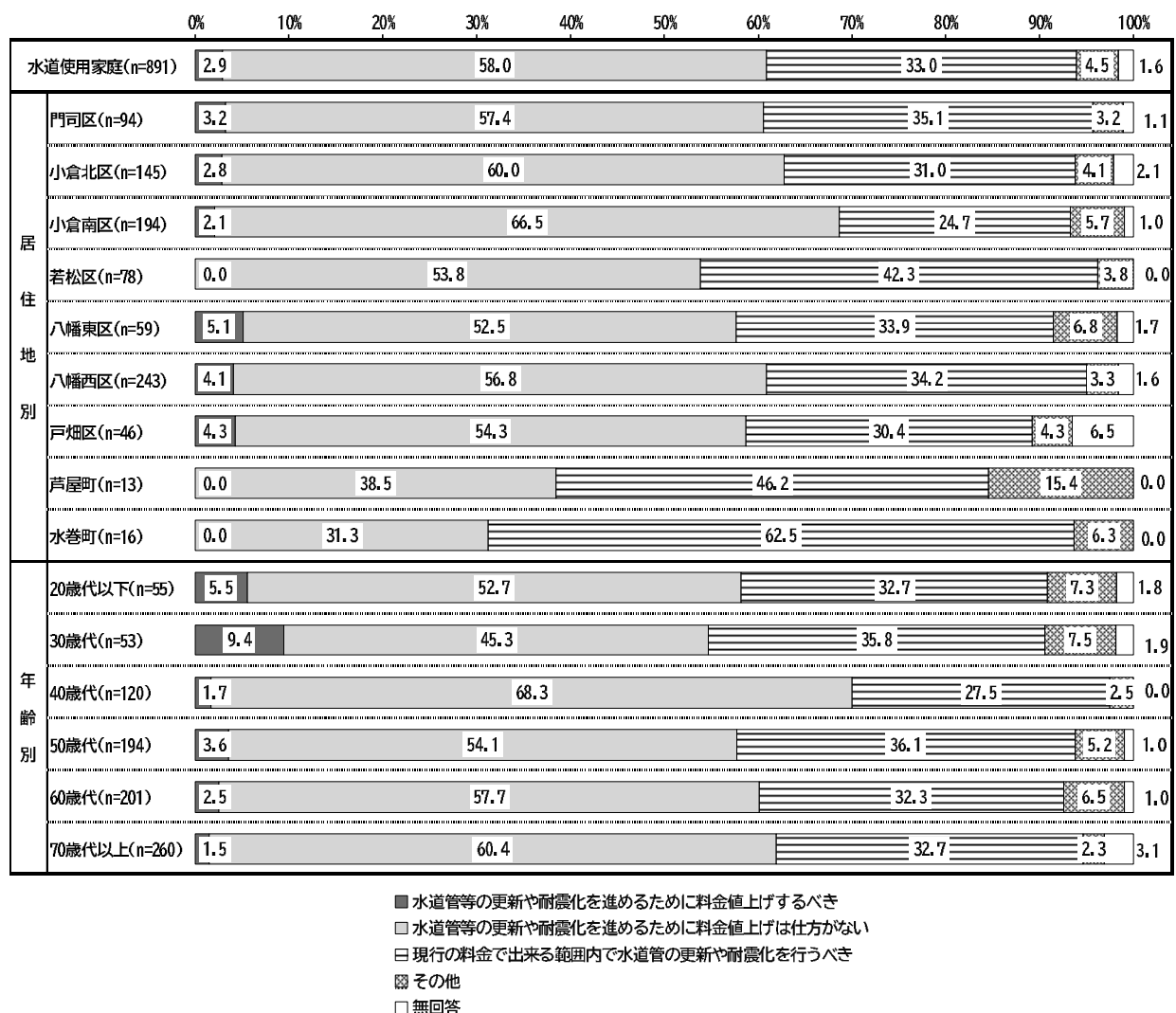


8 今後の水道料金

問29. 上下水道局では、漏水や断水、水処理の停止などが発生しないように老朽化した水道管等の更新や耐震化に取り組んでいますが、昨今の資材価格や労務費の高騰のため、これまで以上に費用がかかっています。このことを踏まえて、今後の水道料金について率直な意見を教えてください。（○印は1つだけ）

今後の水道料金については、「水道管等の更新や耐震化を進めるために料金値上げは仕方がない」が58.0%と最も多く、次いで「現行の料金で出来る範囲内で水道管の更新や耐震化を行うべき」が33.0%となっており、「水道管等の更新や耐震化を進めるために料金値上げするべき」は2.9%と少ない。

図表6-8 今後の水道料金



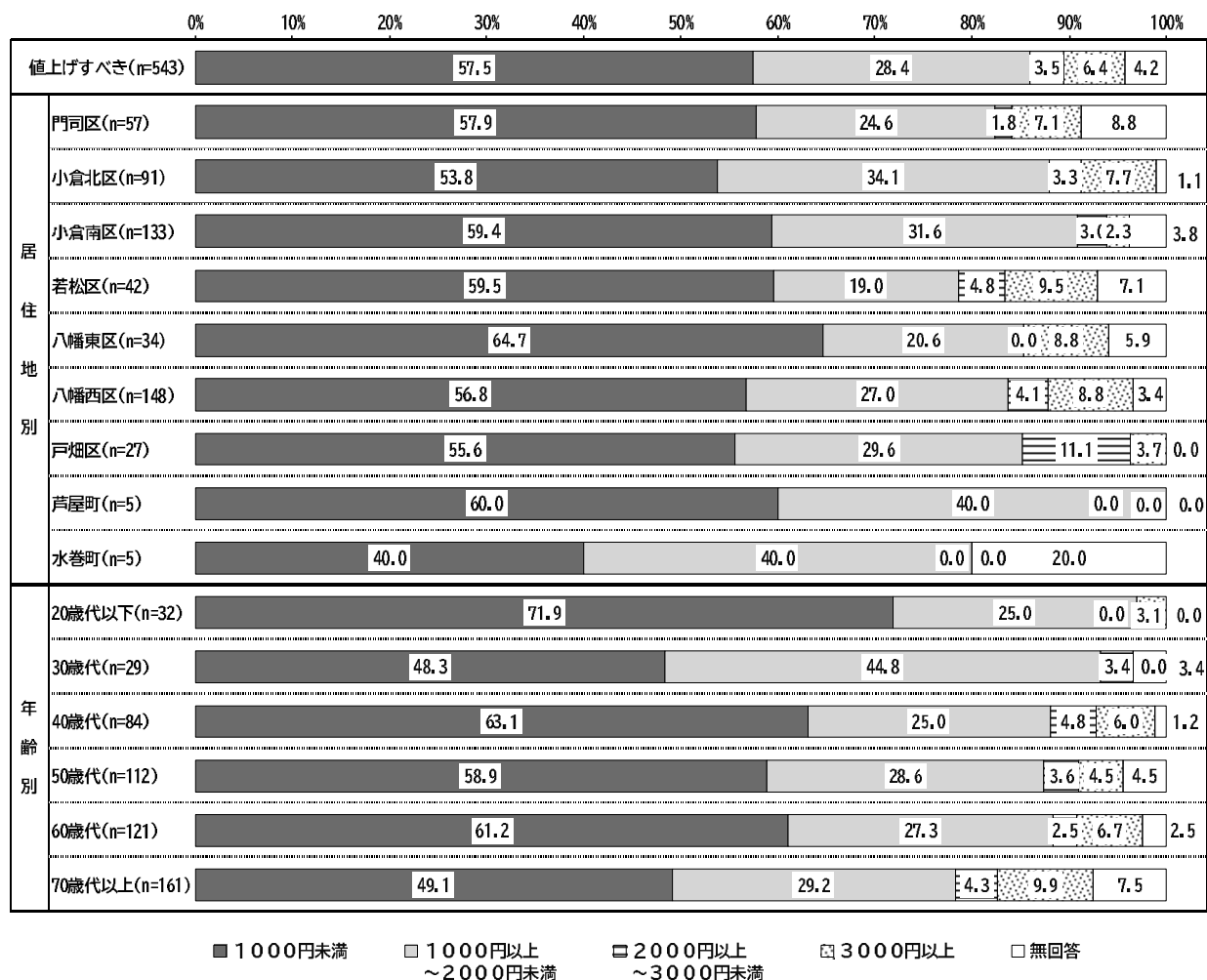
9 許容できる料金値上げ幅

問30. (問29で「1. 料金を値上げするべき 2. 料金値上げは仕方ない」を回答した方へ) 許容できる料金値上げはいくらですか。(2箇月分の上下水道料金を想定してご回答ください) (○印は1つだけ)

許容できる料金値上げ幅としては、「1000円未満」が57.5%と最も多く、次いで「1000円以上～2000円未満」が28.4%となっている。

居住地別にみても、年齢別にみても「1000円未満」が最も多くなっている。

図表6-9 許容できる料金値上げ幅



(※)「3000円以上」は「3000円以上～4000円未満」、「4000円以上～5000円未満」、「5000円以上でも許容できる」の合計

10 今後の水道料金のあり方についての理由

問31. 問29のように回答された理由をお聞かせください。

今後の料金のあり方の理由については、以下のような要素に分類される。
それぞれの主な意見は、以下のようになっている。

【水道管等の更新や耐震化を進めるために料金値上げすべき主な理由】

- 水道管が古くなっているので料金を上げることは仕方ない。
- 人口減少等で払う人がいなくなるので値上げは仕方ない。重要なライフラインであるため。

【水道管等の更新や耐震化を進めるために料金値上げは仕方がない主な理由】

- その他物価上昇で家計が圧迫されているので、あまり値上げはしないで欲しいが、水道管の耐震化のためには少々の値上げは仕方ないと思う。
- 大幅な値上げは許容できない。しかし、いつも安心出来る水の提供などを行っているなど我々の生活に尽力していることなど考慮して、少しなら値上げも許容出来ると思った。

【現行の料金で出来る範囲内で水道管の更新や耐震化を行うべき主な理由】

- 何もかも値上がりしているので現状維持をお願いします。
- 年金生活で全ての物が値上がりして大変です。水は生きていくために大事です。国の財源で何とか補填できないでしょうか。

【その他の主な理由】

- 水は生活に必要なので値上げは反対。法人のみ値上げしてほしい。
- 自分だけでは判断できないため。

§ 7 災害への備えについて

1 飲料水の備蓄

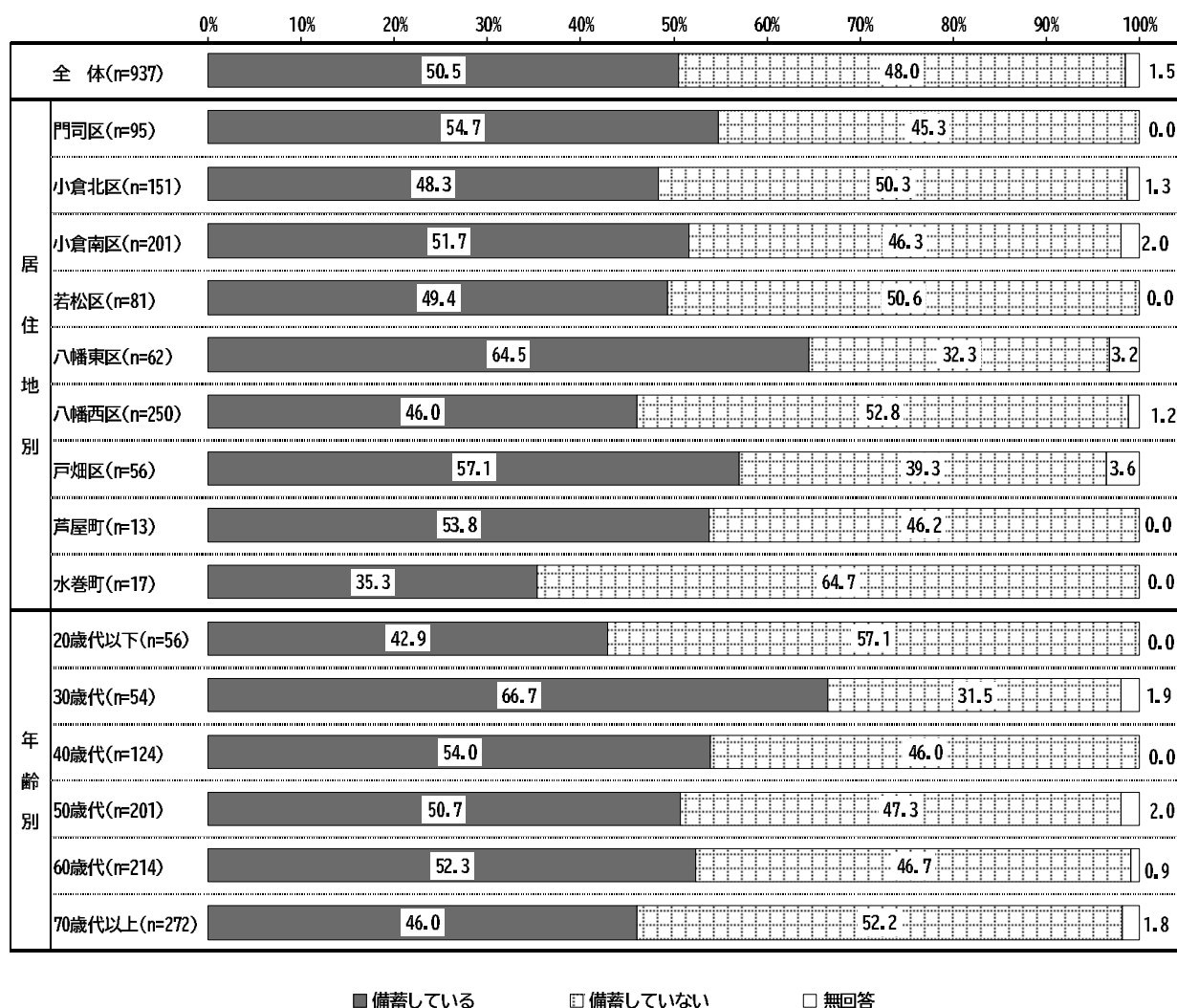
問32. 災害時に備えて、ご自宅で飲料水を備蓄していますか。(○印は1つだけ)

災害時に備えた自宅での飲料水の備蓄については、「備蓄している」は50.5%である。

居住地別にみると、八幡東区で「備蓄している」が64.5%と最も多く、八幡西区で46.0%と最も少ない。

年齢別にみると、20歳代以下で「備蓄している」が42.9%と少ないが、30歳代では66.7%と年齢層の中で最も多く、その後は、年齢が高くなるほど少なくなる傾向がみられる。

図表7-1-1 飲料水の備蓄状況



居住形態別にみると、大きな差はみられない。

家族構成別にみると、単身、親と子と孫世帯で「備蓄している」が少なくなっている。

図表7-1-2 飲料水の備蓄状況

